

コスモス

COSMOS GAKUEN



社会福祉法人
足柄緑の会



45号

社 会 福 祉 法 人
足 柄 緑 の 会

編集・発行／コスモス学園

発 行 日／令和4年10月25日

URL : <https://www.n-csm.jp>

— 特 集 —

- ◆ 理事長 関野 純一 より
- ◆ 令和3年度 理事会・評議員会決議事項報告
- ◆ 中沼ケアセンター所長 能勢 加奈太
/ コスモスホーム所長 植松 辰彦 より
- ◆ 新型コロナウイルス感染への対応報告
- ◆ 職員研修 / 各種委員会の設置について
- ◆ 令和4年度上半期 各事業所のニュース
- ◆ 令和3年度 事業報告・決算報告
- ◆ 新利用者紹介 / 新職員の紹介
/ あのひとこんなひと / 善意



二年間を振り返る



理事長

関野 純一

十一月で理事長就任からまる二年となりました。振り返ってみますと、コロナ禍一色の二年間でした。楽しみにしていた行事のほぼすべてが中止や縮小を余儀なくされ、利用者の皆様、ご家族の皆様は、とても残念な思いだったことでしょう。

私も同じで、対外的に、多くの支援者様に来所いただく機会が失われてしまい、「コロナよ、早く終息してくれ」という思いでいっぱいです。

しかしながら、コロナに対して、職員の皆さんの、素早くそして積極的な対応を目的にすることができたこと、そして、事業所ごとに縮小して実施した行事に対し、思いがけず利用者の皆様がたくさんの笑顔を見せてくれたことを、心から嬉しく思っています。

当法人は、平成九年設立以来二十五年経過しました。

建物・敷地、車両、室内設備、利用者数・職員数そして法人の組織は概ね整い、利用者の皆様には安心してご利用いただいております。法人として、いわずの安定した時期に入っているのではないかと考えております。

この様な時には、日々のルーティンワークを間違いないで行う事は当然ですが、あえて現状を見つめ直し、そのかを考えることが非常に重要なことではないかと思えます。

そこで九月に、「社会福祉法人足柄緑の会未来会議」を立ち上げ、所長以上の幹部職員の皆さんと、当法人の将来について議論しあう場をスタートさせました。

この会議では、人財、法人の財政、工賃アップの方策、後継者問題等々様々な現状の問題点を洗い出し、そしてそれらを今後どうしたらいいのか、議論しています。

特に、今後、合併等法人間の組織の再編が進むであろうことを踏まえると、法人の質をいかに高めておくかということが重要なポイントになるのではないのでしょうか。

質が高く、財政的に安定した法人運営をするにより、職員の皆さんもしつかり仕事をする事ができ、ご利用者様、ご家族の皆様が、より安心して生活できる施設、そして地域の旗艦施設になつて行くものと確信します。いずれ職員の皆さんにはフイードバックします。これらを今各自備えているであろうモチベーションに加えてください。

さて私ごとですが、九月に古希（七十歳）を迎えました。さすがに皆さんと同じパワーはもうありませんので、会議、打ち合わせ、来客等はできるだけ午前中にしつめてもらい、午後は、二位までに片付け退勤させていただいている毎日です。勿論夕方からの会議には戻ってきています。

法人を離れば、図書館やスタバが自分のフィールドです。物を書いたり本を読んだり、ゆったり過ごします。新しくできたミナカ小田原六階の図書館には、とても静かな環境で、お城を正面に見ながらの読書は至福の時です。

職員の皆さん、お休みの時は、日ごろの忙しさを忘れ、頭も体もリフレッシュできるような時間をぜひ作ってください。

令和3年度 理事会・評議員会 決議事項報告

(1) 理事会

令和3年度第1回理事会 令和3年5月27日(木)

- 第1号議案 令和2年度事業報告の承認の件
- 第2号議案 令和2年度計算書類等の承認の件
- 第3号議案 理事選任候補者の推薦の提案の件
- 第4号議案 監事選任候補者の推薦の提案の件
- 第5号議案 定時評議員会の招集の件
- 第6号議案 評議員選任候補者の推薦の提案
および評議員選任・解任委員会の招集の件
- 第7号議案 評議員選任・解任委員の選任の件

令和3年度第2回理事会 令和3年6月28日(月)

- 第1号議案 理事長の選定の件

令和3年度第3回理事会 令和3年7月22日(木)

- 第1号議案 職員の定年年齢引き上げ
(就業規則・給与規程の変更)の件

- 第2号議案 定款施行細則の変更の件

令和3年度第4回理事会 令和3年9月27日(月)

- 第1号議案 育児休業・介護休業・子の看護等規則の変更の件
- 第2号議案 業務会議規程の廃止の件
- 第3号議案 定款施行細則の変更の件

令和3年度第5回理事会 令和3年11月22日(月)

- 第1号議案 ハラスメント防止規程の新設の件
- 第2号議案 就業規則の変更の件
- 第3号議案 無期転換職員就業規則の変更の件
- 第4号議案 パートタイム・有期雇用労働者就業規則の変更の件
- 第5号議案 運営規程の変更の件

令和3年度第6回理事会 令和4年1月31日(月)

- 第1号議案 令和3年度第1次補正予算承認の件
- 第2号議案 人事考課規程の新設の件
- 第3号議案 整備管理規程の新設の件
- 第4号議案 給与規程の変更の件
- 第5号議案 無期転換職員就業規則の変更の件

- 第6号議案 パートタイム・有期雇用労働者就業規則の変更の件
- 第7号議案 コスモスホーム機械浴設備更新の件
- 第8号議案 射出成形機の取出機更新の件
- 第9号議案 人事異動の件
- 第10号議案 コスモス学園中沼ジョブセンター就労支援事業の喫茶(カフェ・ソル)の廃止の件

令和3年度第7回理事会 令和4年3月25日(金)

- 第1号議案 令和4年度事業計画承認の件
- 第2号議案 令和4年度予算承認の件
- 第3号議案 役員等賠償責任保険契約の件
- 第4号議案 経理規程の変更の件

(2) 評議員会

定時評議員会 令和3年6月22日(火)

- 第1号議案 令和2年度計算書類等の承認の件
- 第2号議案 理事選任の件
- 第3号議案 監事選任の件

理事長	関野 純一		
理事	林 淳	森内 成典	齋能 通
	宮坂 信章	川端 慎	
監事	杉本 成行	加藤 正晃	
評議員	鍵和田 茂	鍵和田 功	玉川 善弘
	廣田 勝紀	赤沼 洋	浅沼 賢史
	晝場 浩司		

中沼ケアセンター・居宅介護それいゆ 所長就任のご挨拶



中沼ケアセンター・居宅介護それいゆ

所長 能勢 加奈太

このたび、令和四年四月一日付をもって、中沼ケアセンターと居宅介護事業所それいゆの所長に就任致しました。

日頃よりご利用者ならびにご家族の皆様には当法人の運営に多大なご協力・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私は障害福祉の仕事に就いてから凡そ十六年になり、そのうちの十一年間はコスモス学園に身を置いております。

障害福祉の仕事をしたての頃、先輩職員から「ご利用者の五年先、十年先を見据えて支援をするように。」と言われたことをはつきりと覚えており、今もとても大事にしている言葉です。聞いた時もあるほど思いましたが、今思えば先輩職員が教えてくれた通りの支援はできていなかったと思います。現状でもどこまでできているかは分かりませんが、最近になってやっと言葉の意味を理解し活かせるようになってきたかな、と感じています。コスモス学園において日々ご利用者と接し、よく笑ったり、時に支援に行き詰ったりといった経験をさせて

いただいたことや、ご家族の皆様から温かい言葉をかけていただき、それを活力に仕事に取り組んできたことで今の私があります。

今後福祉を取り巻く制度や環境は変わっていくこととは思いますが、ご利用者の将来に少しでも貢献できるようにという想いは変えずに仕事をさせていたきたいと考えております。

コロナの流行から三年がたちました。この間通所の事業所を一時的に閉めざるを得なかったことや、日課や行事の縮小などもあり大変ご迷惑をおかけしました。今後の情勢も予測を許しません、そういった中でもご利用者にサービスを使えて良かったと思っていただけのような職員一同力を合わせていく所存であります。

まだまだ人としても所長としても未熟者ではございますし、至らぬ点多々あることと思いますが、コスモス学園をより良くしていきたいという熱意だけは強く持っておりますので、今後ともどうぞご支援賜りますようお願い申し上げます。

コスモスホーム所長就任のご挨拶



コスモスホーム

所長 植松 辰彦

このたび、令和四年四月一日よりコスモスホームの所長に就任いたしました、植松です。

日頃より、ご利用者ならびにご家族の皆様、地域の皆様には多大なるご理解、ご協力を賜り、この場をお借りいたしまして心より厚くお礼申し上げます。

私は平成十一年四月に中沼コスモス学園の通所更生施設に入職いたしました。その後コスモス学園中沼ジョブセンター、コスモス学園松田センターを経て、令和二年四月よりコスモスホームでの勤務となり今に至ります。

思えば私が入職したころは足柄緑の会は緑色の建物（現中沼ジョブセンター）の一棟のみで、そこで授産施設、更生施設が活動していました。その後中沼ケアセンターが別棟で開設され、その後も松田センター、コスモスホーム（短期入所含む）、相談支援事業所あすなろ、居宅介護事業所それいゆが開設され、障害福祉サービスの一翼を担うことができました。これも日々通われている利用者の皆様をはじめ、ご家族の皆様、地域の皆様のご尽力があつたからだと思えます。

私がコスモスホームに異動してほどなく、新型コロナウイルスが流行し始め、利用者の皆様には様々な制限（余暇活動の休止、行事の短縮等）を敷かなくてはならない事態となり、生活スタイルの改善も求められることとなりました。時には窮屈な生活を求められましたが、新しい生活スタイルも浸透しつつあります。

今後の課題としては今まで自粛していた活動を新しい生活スタイルの中で定着させて、利用者の皆様一人ひとりの「満足」につながる支援が提供できるかがテーマであり、使命とも感じます。利用者の皆様が日々笑顔溢れる場を提供できるように、私自身も改めて初心に戻り、日々精進していく所存でありますので、これからもご指導ご鞭撻を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。



新型コロナウイルス感染への対応報告

コスモス学園にも感染の脅威が……

令和3年、近隣施設での大規模クラスターが発生し応援派遣要請を受けて、当法人からも1名の職員を派遣するなど、新型コロナの感染は身近なものとなっていました。令和4年に入り、変異株の強い感染力の前に当法人も多数の感染者が出てしまいました。2月～3月にかけて、通所事業所、グループホームでも職員、利用者に多数の感染者が出て、最長 2/21(月)～3/3(木)まで休所することになりました。

多数の感染者が出ていましたが、「新型コロナウイルスの感染予防」をテーマにした職員研修を 2/11(金)に行ったため、的確なゾーニング、館内の消毒、N95マスクの着用、適切な防護服の使用方法をなどを迅速に対応できたおかげで、10日間で収束することができました。

その後は、大規模な感染は回避できていますが、第7波では全国的に記録的な感染者数となるなど予断を許さない日々が続いています。

コスモス学園の感染対策

- ① 活動前の検温、健康状態の確認
- ② 3密の周知徹底(食堂は時間差で利用し、対面、隣との距離をあけて食事を摂る)
- ③ アルコール消毒液を随所に設置及び、手すり、椅子、机などの定期的な消毒
- ④ 共有の水分補給は紙コップ対応
- ⑤ 感染対策備品(抗原検査キット、防護服、N95マスク、フェイスシールド、弁当容器等)を常備
- ⑥ 新型コロナウイルス事業継続計画(BCP)の随時更新

コスモスホームの感染対策

- ① 毎朝の検温、健康状態の確認
- ② 発熱症状があった際は、管理人室での個別対応
- ③ ユニットごとのゾーニング対応
- ④ アルコール消毒液を随所に設置及び、手すり、椅子、机などの定期的な消毒
- ⑤ 抗原検査キットの常備
- ⑥ 新型コロナウイルス事業継続計画(BCP)の随時更新

健康観察時のポイント

神奈川県クラスター班より、第7波での健康観察ポイントの指導がありました。

- ① 37.0℃以上の発熱はないか
- ② 鼻水などの症状はないか
- ③ 味覚・臭覚に異常はないか
- ④ 呼吸器、のどの痛みはないか

上記4点に加え、下痢等の症状も注意が必要とのことです



利用者の方々が、安心してご利用できるよう新型コロナウイルス感染対策、感染予防を法人全体で徹底し、迅速な対応に努めて参ります。今後も引き続き新型コロナウイルス感染予防へのご協力をお願い致します。



法人職員研修

6月10日(金)に職員研修を実施しました。今回の内容は職員のメンタルヘルスについて、公認心理士の宮平昌亀さんに講師として来ていただき、研修をお願いいたしました。



組織として「働きやすい」、「話しやすい」環境を作ることが重要だと何度か話があり、自分自身でもいつもと違う自分に気づくことや、ストレス解消方法など取り組めることを見つけることも必要だとお話がありました。

研修の最後にリラクゼーション技法の実施を行いました。呼吸法やイスに座ったまま行うストレッチや立位のストレッチなど業務の合間に行える技法ですぐにできるような内容でとても分かりやすかったです。

研修を終えて、改めてストレスケアの重要性を感じました。

研修の中で自分たちに関わる「心の健康のイエローサイン」や「メンタルヘルスケアの取り組み」など、具体的な事例をもとに、自分たちの状況を確認する場面もありました。特に不調になる前に早期発見をすること、未然に防げることや、組



深呼吸



呼吸をゆっくりすると、心がおだやか、そしてリラックス！

筋弛緩法

肩の力を抜く

腕のリラックス



両肩を持ち上げて力を入れる

10秒数えたら肩の力をストンと抜く

肩から背中にかけて筋肉がゆるんでいく感じを味わう

両腕を肩の高さで前に伸ばし、にぎりこぶしを固く握る

10秒数えたら手の先から肩までの力を抜く

ストレッチング(立位)



【ポイント】
・はみつきにゆっくり伸ばす
・痛みを感じるところまで伸ばさない
・10〜30秒間保持する
・呼吸は止めずに自然に行う
・伸ばしている部位に意識を向ける
・おだやかな顔で行う



災害・感染症対策委員会の設置について

令和3年4月の報酬改定に伴い、当法人は、令和3年10月より、災害・感染症対策委員会を設置しました。

災害が発生した場合や感染症(新型コロナウイルス感染症等)の発生の際に業務継続に向けた計画や研修、訓練等を強化し、地域と連携した災害対策を推進していくための委員会です。

委員長 植松 辰彦
委員 小野 達也
能勢 加奈太
原口 恵美子
内藤 重則
小泉 優太

虐待防止・身体拘束対策委員会の設置について

令和3年4月の報酬改定に伴い、当法人は、令和3年10月より、虐待防止・身体拘束対策委員会を設置しました。

虐待の未然防止、虐待事案発生時の検証や再発防止策の検討、身体拘束等の適正化を推進していくための委員会です。

委員長 小野 達也
委員 萩原 輝秋
秋貞 誠人
渡辺 明実
鈴木 新太
北村 良子
金澤 梓

各事業所の ニュース

中沼ジョブセンター

中沼ジョブセンターでは、昨年度の終わりに1名、また今年度も1名の利用者さんが就職をしました。社会人として活躍をしています。

そして、4月には2名の利用者さんが入所し、新しい顔ぶれの中、スタートしました。

作業は、昨年度に続き、施設外就労4か所に曜日ごとにメンバーを変更して行っています。

また、学園では、今年度も企業様より新しいお仕事をいただきました。新しい作業は、大手ネットショップの商品のシール貼りや袋詰めです。



毎週、種類の違った商品がたくさん届くので、その作業に携わる利用者さんも「今回はどんな商品が届いたの?」「次は何が来るの?」「出荷の車が来たよ」と商品が届いたり、出来上がったものが出荷されるのを毎回楽しみにしています。



また、新型コロナウイルスの影響により学園で全事業所が集まっていた行事ができなくなっているから2年が経ちます。なかなか利用者さんがボランティアと関わる機会が少なくなっています。今年度は、JPSマイルプロジェクトで郵便局西湘支部の郵便局員さんが、ボランティアとして中沼ジョブセンターに来所し、利用者さんと一緒に作業に取り組む時間を設けました。利用者さんも久々にボランティアの方と関わることで、自分のがんばっている仕事を見てほしい、一緒に作業がやりたいなど、コミュニケーションを取りながら仕事ができ、充実した時間となりました。

今後新型コロナウイルスに負けず、企業様からいただいている作業をみんなで協力してがんばっていきたいと思います。

中沼ケアセンター

令和4年度上半期の中沼ケアセンターでの行事として、7月9日(土)に行いました納涼大会の様子を紹介させていただきます。

新型コロナウイルス感染症対策として、パン食い競争ではなく、さまざまな種類のお菓子が入った袋を手で取る競争を行いました。列に並んで競争となると勝ちたいという気持ちが出るのか、みなさん元気に躍動されておりました。

午後はおもちゃの金魚に当たりの印を付けた金魚すくいを玄関前の中庭で行いました。水にプカプカと浮かぶおもちゃの金魚をいつも以上の集中力ですくい上げられていました。屋外の空気を吸いながら冷たい水にふれると夏の暑さを感じました。

見事に当たりの金魚をすくい上げられた利用者の方は人一倍大きな景品に少し誇らしげな表情をされていました。



体を動かした後はお待ちかねのチョコバナナとアイス、お菓子取り競争で手にされたお菓子でパーティーをしました。みんなで一緒においしいものを食べると自然と笑顔になりましたね。

8月12日(金)にビーチレクリエーションにて、ビーチボールのスイカ割りを行いました。ビーチボールを叩いて汗をかけた後は甘く冷たいスイカにかぶりつき、潤った喉と季節の恵みを実感しました。



また、ご覧になられたり参加された方もいらつしやるのではないかと思います。6月22日から25日まで行われた南足柄市環境美化週間事業実行委員会主催の環境フェアのポスターに作業で描かれた絵画が選ばれ利用者の方々、職員一同大いに喜びました。今後も活動や作業等を通じて地域や社会との繋がりを感ずることができたらと願っております。



松田センター

松田センターでは、今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、就労B型、生活介護、一緒に行う活動はなかなかできませんでしたが、利用者さん、保護者さん、地域の方々のご協力もあり、楽しい活動が行えました。

生活介護では、近所で畑をやられている方からイチゴの苗をいただき、プランターで苗を育てました！毎日、利用者さんが交代で水やりや経過観察をして4月頃にはたくさんイチゴができました。できたイチゴをみんなで収穫しましたが、初めて収穫をする利用者さんも多かったようで、楽しく収穫をし、採りたてのイチゴを食べたり、食べきれなかったイチゴはジャムにして食べたりと春を満喫しました！



地域活動では事業所のある自治会から月に2回、広報誌や回覧の丁合作業のお仕事をいただきました。丁合した物を各組長さん宅へ配達しますが、職員と一緒に利用者さんが重い荷物を持って地域を歩いて回っています。

就労B型では、コロナ禍でマスクの需要が増えたことで、マスクの梱包の仕事をいただきました。複数ある工程を一つ一つ丁寧に組み、軽トラに積み上げられる製品数をみんな協力して完成させています。注文数も多いため、工賃アップに繋がることができました。



7月9日(土)に松田センター納涼大会を行いました。生活介護は、午前にうちわ作り、午後から4グループに分かれてお面作り、射的、ヨーヨー釣り、缶バッチ作りを行いました。ヨーヨー釣りの景品では、いろいろな色に光るヨーヨーがあり、みなさん触ったり、見たりして、とても喜んで持ち帰っていました。

就労B型の午前中は、カラオケ大会とうちわ作り、午後から魚釣り、輪投げ、ボーリングを行いました。就労B型では今回初めて各催しをグループではなく、客側、店側に分かれて行い、お店側の人達は役割をそれぞれ持ち最後まで楽しんでいました。



コスモスホーム

今年度前期に余暇活動で、4月9日(土)にバドミントン、7月上旬に七夕飾りを行いました。

バドミントンは、土日の利用者に声をかけて行いました。風が少しあったのでシャトルが揺られて飛んで行ってしまう、全く上手くいかないことをお互い笑いながら。新型コロナウイルスの関係で外に出ることや人との関わりが減ってしまったので、利用者同士で体を動かす、ストレス解消にもなった様子です。

七夕飾りは近隣の駐車場から背丈より少し高い笹を一本いただき、みんなで短冊に願い事を書き玄関に飾り付けました。普段口にしないような大きな願い事や、いつも叶っている願いが継続するように、など様々な願い事があり、また、恥ずかしさから名前を記入していない人など、一人ひとりの個性あふれる素敵な七夕飾りができました。すべての願い事が現実になっ



6月19日(日)には毎年恒例の美化活動に、体を動かす事が好きな人4人が参加しました。

天気の良い日ということもあり、暑さ対策をしながらも汗をかいていました。コスモスホームの周りには水路を中心に草むしりやゴミ拾いを行い、褒められたり感謝されたりと充実感を味わい、終わってから自治会で貰ったお茶をグイッと飲み干し、良い表情で帰ってきました。



6月27日(月)にひだまり棟の機械浴が新しいものになりました。

ピカピカのお風呂とストレッチャーに目を輝かせ気持ちよさそうにお風呂に浸かり一日の疲れを癒しています。



まだまだ新型コロナウイルスに気を付けて、館内の消毒や手の消毒、マスク着用など様々な対策を行っています。いろいろなイベントが縮小される中でも8月には部屋から花火を楽しむ、またテレビでも花火を楽しむ、みんなその話で盛り上がるなど、できることを楽しんでいます。

これからも居心地のいいコスモスホームであるように利用者、職員一丸となり努力していきます。

新利用者紹介



佐々木 達也
中沼ジョブセンター
(就労移行)



上野 充洋
中沼ジョブセンター
(就労移行)



有野 努
コスモスホーム



石井 克也
松田センター



府川 俊光
松田センター

中沼ジョブセンターに
新しい仲間が
ふえました♪
見かけたら
声をかけてね♪



南 由美子
松田センター



薦木 珠美
松田センター



竹内 望
松田センター



趣味に仕事にがんばっている
2人をご紹介します！



青木 伸治
コスモスホーム
支援員

平成27年11月24日から松田センターに入職し、平成31年4月から現在までコスモスホームで働いています。コスモスホームでは『家』ということで利用者さん達がリラックスして笑って過ごせるように心がけて仕事しています。

私は小さな頃からお笑いが好きで、志村けんやダウンタウンを見て日々お笑いの研究をしてきました。最近ではさまぁ〜ずや、東京03などシュールなお笑いが特に好きでYouTubeやDVDでよく見えています。寝つきが悪い時にはナイツなどの漫才や、吉本新喜劇を聞きながらベッドに横になるとぐっすり寝て次の日の仕事の活力になっているようにお笑い漬けの生活ですが、研究の成果は実践ではまだ活かされていないようです。他の趣味もテレビを見ることやゲームをする事なので、プライベートではテレビの前で一日が終わっている感じです。

このご時世生活様式で息苦しさがありますが、笑う門には福来るといふことで、これからもみんなまで笑って過ごしていけたらと思っています。



北村 もえ
松田センター
支援員

令和2年の4月に入職し、松田センターに所属しております。今年で3年目になりますが、利用者さんに毎日元気をもらいながら楽しくお仕事させていただいています。

私は映画を観ることが好きで、時間があればインターネットを使って洋画を観ています。観た映画の数は100本を超えましたが、自分で選ぶといつも同じようなものになってしまうので、おすすめの映画がありましたら是非教えてください。

最近、和歌山県に行ってきました。和歌山県は海・山に囲まれていて自然豊かな所でした。朝3時に起きてカヤックから朝日を見るなど、普段はできないような体験ができ、自然が好きな私にとってはとても良い気分転換になりました。

まだまだ行きたい所があるので、また行けるのを楽しみに、これから仕事を頑張っていきたいと思っています。



私たちは、
1人ひとりの利用者が
1人の人として
“究極の幸せ”を
得られるよう支援します



社会福祉法人
足柄緑の会



Hydro Ag+ アルコール
スプレーをご寄附いた
だきました

皆さまより多くのご寄附を
賜りました。
この書面をお借りしまして
感謝とお礼申し上げます。
どうもありがとうございます。

富士フィルム労働組合
(アルコールスプレー)
コスモス保護者会
コスモス後援会

イトーヨーカ堂労働組合
小田原北ロータリークラブ

善意
(順不同・敬称略)

令和3年度 社会福祉法人足柄緑の会 事業報告

1. 概況

(1) 新型コロナウイルスの状況

1月17日(月)から利用者、職員合わせ陽性者が3名出て、保健所、神奈川県からの指示のもと、同19日(水)から28日(金)まで、コスモス学園中沼ジョブセンター(以下、「中沼ジョブセンター」という)、コスモス学園中沼ケアセンター(以下、「中沼ケアセンター」という)を休所とした。2月18日(金)から再び陽性者が出現し、利用者、職員合わせ35名に達した。保健所、神奈川県からの指示のもと、中沼ジョブセンター、中沼ケアセンター、コスモス学園松田センター(以下、「松田センター」という)の生活介護、就労継続支援B型を休所(2月21日(月)から3月3日(木)まで、休所期間は事業所により異なる)とし、コスモスホームの5ユニット中3ユニットをレッドゾーンとした。

BCPの規定に基づき、本部対策チームが保健所、神奈川県との折衝と情報収集そして、職員への指示に努めた。経過については、各方面ならびにホームページに開示した。コスモスホームについて、神奈川県から封じ込めができたことに対し、評価をいただいている。

新型コロナウイルスの直接的影響として、自立支援給付費収益が、1～3月で、5,800千円の減少となった。次年度以降も、気を緩めることなく基本的感染症対策を継続していく。

(2) 行事

前年度と同様、納涼大会、運動会、学園祭、バス旅行等、主行事が中止となった。

成人式、クリスマス会(事業所毎)は、安全対策を十分考慮した上で実施した。

2. 法人運営

(1) 理事長の行動

各会議、ミーティング等により、職員との情報交換を積極的に行なった。

(2) 体制の見直し

- ① 空席であった総合施設長を置き、経営全般の掌握、所長の取りまとめを行った。
- ② 8月に生産事業部検討会が発足し、幹部職員により月1回プラスチック事業の将来についての議論を始めた。次年度も継続する。
- ③ カフェ・デ・ソルは売上不振により、理事会で、1月31日(月)をもって廃店を決定した。次年度以降補助金の返還、物件の原状回復工事、賃貸契約の終了手続きを行う。

(3) サービスの質の向上

① 就労移行支援・就労継続支援B型

ア) 受注・就職状況

- ・1、2月は、新型コロナウイルスの影響で作業は減少したが、通年としては受注は前年と変わらなかった。
- ・施設外就労は、新型コロナウイルスの影響で、稼働できない期間があった。
- ・工賃は、中沼ジョブセンターで一人当たり月額500円程アップしたが、松田センターは前年とほぼ同じであった。
- ・2月に、中沼ジョブセンター就労継続支援B型から2名就職した。
- ・フォローアップ支援は、例年通り行った。

イ) プラスチック成形

- ・対前年113%の売上を達成した。丸善清水株式会社の大幅アップがその要因である。自動車部品で新型コロナウイルスの影響はあったものの、他の受注で生産増に結び付けることができた。また、緊急の受注に対し、職員が臨機応変に対応できた。
- ・株式会社GSコアサ向けトッテの生産について、本数の不具合が発生したが新しい計量器を導入しその改善に努めた。

② 生活介護

利用者の意思決定に基づいた支援に努めた。いろいろな室内プログラムを計画したが、アロマセラピー、フラワーアレンジメント、セラピー犬、お茶については、新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。

③ 共同生活援助(グループホーム)

本人の意向を尊重し、自立に向けた支援に取り組んだ。地域の催しはすべて中止になった。

④ 居宅介護(ヘルパー)

新型コロナウイルスの制約がありながらも、フェイスシールド装着等感染症対策を十分とったうえで継続的に実施した。

⑤ 相談支援

対面は最小限にし、電話による相談支援を中心に行った。

(4) 職員の教育・育成

- ① 外部研修は、オンラインを中心に取り組んだ。
- ② 介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級)資格を2名取得した。今後も積極的に推進する。
- ③ 2月11日(金)、「竹の子学園新型コロナウイルス感染症との戦い」をテーマに、研修を実施し役員も参加した。併せてAEDの使用訓練を実施した。
- ④ 事業所説明会を西部総合職業技術校で実施し、次年度の採用に結び付いた。
- ⑤ 教育実習に専門学生1名、大学生4名の計5名が参加した。
- ⑥ 学校訪問は、直接訪問を4校、オンラインで5校実施した。

(5) 法人の社会的責任の遂行・

地域における公益的な取組

- ① 10月1日(金)、「虐待防止・身体拘束対策委員会」ならびに、「災害・感染症対策委員会」を立ち上げた。
- ② 中沼ジョブセンター生産事業部は株式会社植松電機からロケット部品成形を受注している。2月18日(金)に山北町川村小学校でこの打ち上げ体験を実施した。教職員、生徒、地域住民、マスコミ等大きな関心を寄せ多大な地域貢献を果たした。
- ③ ISO9001の監査は特段の問題は無く、理事会に報告した。
- ④ 災害対応訓練、権利擁護支援(KWネット)、相談支援ネットワーク等の施設間連携事業へ参加することにより、行政、他の福祉施設、医療機関等と連携、協働を図った。
- ⑤ 災害時BCP、新型コロナウイルスBCPの内容を更新し、リスクへの対応に取り組んだ。
- ⑥ リスクマネジメント、権利擁護に関する状況等を理事会で報告した。
- ⑦ KESは、環境改善目標を概ねクリアした。

(6) 法人の法令順守と財務安定化

- ① 幹部職員との定例ミーティングにより、情報の共有化を図り規程の変更、業務内容の整理等を行い働き方改革に対応した。
- ② プログラムや勤務体制の工夫を図り、これを継続し、サービスの充実に努めた。
- ③ 障害者地域生活サポート事業の行動障害者支援事業補助金について、小田原市より、受給することができた。
- ④ 相談支援の新規加算を取得できた。
- ⑤ 介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級)資格を新たに2名取得し、居宅介護の基本報酬が増額した。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症蔓延期間中、通所できない利用者に対する在宅支援を積極的に行い、収益の確保に努めた。
- ⑦ 最低賃金の大幅な上昇、新型コロナウイルスによる厳しい状況の中、経費節減に努めた結果、当期活動増減差額は黒字を確保できた。

令和3年度 決算報告

法人単位事業活動計算書
(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位: 円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収入			
就労支援事業収入	84,139,000	80,798,771	3,340,229
障害福祉サービス等事業収入	465,261,148	466,534,589	-1,273,441
経常経費寄附金収入	1,500,770	1,297,820	202,950
サービス活動収益計(1)	550,900,918	548,631,180	2,269,738
費用			
人件費	329,422,296	324,722,442	4,699,854
事業費	53,729,342	55,086,908	-1,357,566
事務費	41,714,856	42,997,156	-1,282,300
就労支援事業費用	84,909,391	80,919,392	3,989,999
被償償却費	42,246,905	41,313,296	933,609
国庫補助金等特別積立金取崩額	-23,699,330	-23,924,981	225,651
サービス活動費用計(2)	528,323,460	521,114,213	7,209,247
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	22,577,458	27,516,967	-4,939,509
収入			
借入金利息補助金収入	1,101,000	1,267,000	-166,000
受取利息配当金収入	102,035	151,734	-49,699
その他のサービス活動外収益	11,883,014	14,331,038	-2,448,024
サービス活動外収益計(4)	13,086,049	15,749,772	-2,663,723
支払利息	3,382,727	3,660,740	-278,013
その他のサービス活動外費用	8,670,158	8,555,119	115,039
サービス活動外費用計(5)	12,052,885	12,215,859	-162,974
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,033,164	3,533,913	-2,500,749
経常増減差額(7)=(3)+(6)	23,610,622	31,050,880	-7,440,258
収入			
施設整備等補助金収入	11,672,000	11,672,000	0
施設整備等寄附金収入	0	5,200,000	-5,200,000
固定資産受贈額	0	600,000	-600,000
特別収益計(8)	11,672,000	17,472,000	-5,800,000
費用			
固定資産売却損・処分損	4	10,393	-10,389
国庫補助金等特別積立金積立額	11,672,000	11,672,000	0
特別費用計(9)	11,672,004	11,682,393	-10,389
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-4	5,789,607	-5,789,611
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	23,610,618	36,840,487	-13,229,869
前期繰越活動増減差額(12)	279,221,175	239,380,688	39,840,487
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	302,831,793	276,221,175	26,610,618
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	0	3,000,000	-3,000,000
その他の積立金積立額(16)	0	0	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	302,831,793	279,221,175	23,610,618

法人単位資金収支計算書
(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位: 円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
収入			
就労支援事業収入	83,925,160	84,139,000	-213,840
障害福祉サービス等事業収入	468,198,000	465,261,148	2,936,852
借入金利息補助金収入	1,100,000	1,101,000	-1,000
経常経費寄附金収入	1,400,000	1,500,770	-100,770
受取利息配当金収入	100,000	102,035	-2,035
その他の収入	11,945,000	11,883,014	61,986
事業活動収入計(1)	566,668,160	563,986,967	2,681,193
支出			
人件費支出	334,163,260	328,194,176	5,969,084
事業費支出	58,208,812	53,729,342	4,479,470
事務費支出	47,194,386	41,714,856	5,479,530
就労支援事業支出	82,377,194	82,244,929	132,265
支払利息支出	3,421,700	3,382,727	38,973
その他の支出	8,724,000	8,670,158	53,842
事業活動支出計(2)	534,089,352	517,936,188	16,153,164
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	32,578,808	46,050,779	-13,471,971
収入			
施設整備等補助金収入	11,672,000	11,672,000	0
設備資金借入金収入	17,000,000	17,000,000	0
固定資産売却収入	8,800,000	8,800,000	0
施設整備等収入計(4)	37,472,000	37,472,000	0
設備資金借入金元金償還支出	38,370,000	38,370,000	0
固定資産取得支出	28,856,790	29,280,290	-423,500
施設整備等支出計(5)	67,226,790	67,650,290	-423,500
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-29,754,790	-30,178,290	423,500
収入			
長期運営資金借入金収入	132,000	132,000	0
積立資産取崩収入	1,576,380	1,576,380	0
その他の活動収入計(7)	1,708,380	1,708,380	0
投資有価証券取得支出	550,000	550,000	0
積立資産支出	3,791,000	3,391,000	400,000
その他の活動支出計(8)	4,341,000	3,941,000	400,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-2,632,620	-2,232,620	-400,000
予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	191,398	13,639,869	-13,448,471
前期末支払資金残高(12)	175,057,360	175,057,360	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	175,248,758	188,697,229	-13,448,471

法人単位貸借対照表
令和4年3月31日現在

(単位: 円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	243,893,089	234,093,507	9,799,582	流動負債	92,198,491	96,357,403	-4,158,912
現金預金	143,566,201	128,681,118	14,885,083	事業未払金	15,599,801	17,783,055	-2,183,254
事業未収金	75,633,089	83,607,416	-7,974,327	1年以内返済予定設備資金借入金	29,898,000	29,776,000	122,000
未収補助金	6,671,078	4,559,500	2,111,578	未払費用	32,105,508	33,250,476	-1,144,968
受取手形	10,392,554	9,915,469	477,085	預り金	2,180,096	2,027,548	152,548
商品・製品	1,120,528	1,271,266	-150,738	職員預り金	627,696	1,345,864	-718,168
原材料	1,662,841	1,509,478	153,363	前受収益	1,899,390	1,848,460	50,930
立替金	1,276,500	195,800	1,080,700	賞与引当金	9,978,000	10,326,000	-348,000
前払費用	3,566,548	4,353,460	-786,912	固定負債	244,388,150	264,260,650	-19,872,500
仮払金	3,750	0	3,750	設備資金借入金	213,318,000	234,720,000	-21,402,000
固定資産	584,151,283	606,398,989	-22,247,706	退職給付引当金	27,464,150	25,946,650	1,517,500
基本財産	420,356,212	434,548,198	-14,191,986	その他の固定負債	3,606,000	3,594,000	12,000
土地	100,100,000	100,100,000	0	負債の部合計	336,586,641	360,618,053	-24,031,412
建物	319,256,212	333,448,198	-14,191,986	純資産の部			
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	基本金	86,385,879	86,385,879	0
その他の固定資産	163,795,071	171,850,791	-8,055,720	基本金	86,385,879	86,385,879	0
土地	40,319,868	40,319,868	0	国庫補助金等特別積立金	94,208,110	106,235,440	-12,027,330
建物	16,551,175	18,974,599	-2,423,424	国庫補助金等特別積立金	94,208,110	106,235,440	-12,027,330
構築物	12,231,357	14,945,796	-2,714,439	その他の積立金	8,031,949	8,031,949	0
機械及び装置	3,483,360	4,064,770	-581,410	施設整備等積立金	7,000,000	7,000,000	0
車両運搬具	12,624,078	4,795,723	7,828,355	工賃変動積立金(就労)	683,000	683,000	0
器具及び備品	4,617,762	7,904,773	-3,287,011	設備等整備積立金(就労)	348,949	348,949	0
建設仮勘定	0	8,800,000	-8,800,000	次期繰越活動増減差額	302,831,793	279,221,175	23,610,618
権利(償却)	798,957	974,578	-175,621	次期繰越活動増減差額	302,831,793	279,221,175	23,610,618
権利(非償却)	24,109,405	24,109,405	0	(うち当期活動増減差額)	23,610,618	36,840,487	-13,229,869
投資有価証券	6,250,000	5,700,000	550,000				
退職給付引当資産	27,464,150	25,946,650	1,517,500				
施設整備等積立資産	7,000,000	7,000,000	0				
工賃変動積立資産(就労)	683,000	683,000	0				
設備等整備積立資産(就労)	348,949	348,949	0				
差入保証金	7,080,000	7,080,000	0				
その他の固定資産	233,010	202,680	30,330	純資産の部合計	491,457,731	479,874,443	11,583,288
資産の部合計	828,044,372	840,492,496	-12,448,124	負債及び純資産の部合計	828,044,372	840,492,496	-12,448,124